

橋浦史一教授（退職教員）業績一覧

① 研究職歴

昭和50年4月1日	信州大学講師教養部
昭和55年4月1日	信州大学助教授教養部
平成4年4月1日	信州大学教授教養部
平成7年4月1日	信州大学教授人文学部
平成10年4月1日	信州大学教授教育システム研究開発センター
平成12年4月1日	信州大学教授人文学部
平成18年4月1日	信州大学教授全学教育機構

② 学術論文

- 『小説神髓』における馬琴の投影, 1972年9月, 日本文芸論稿 第4号
- 藤村文芸の形成と「山家ものがたり」-透谷受容の一視点-, 1973年9月, 文芸研究 第74集
- 文芸作品の鑑賞と研究-作品論から「文芸史」への試み-, 1973年12月, 文芸研究 第75集
- 『嵐』論-「嵐」の意味-, 1974年2月, 日本文芸論稿 第5号
- 『春』の発想, 1974年9月, 文芸研究 第77集
- 「家」から「新生」へ-作品解釈の視点-, 1974年10月, 文化 第38巻第1,2号
- 『破戒』論-主題と評価-, 1975年3月, 日本文芸論稿 第6号
- 北村透谷の「文学史」像, 1976年11月, 『日本文芸論叢』
- 『若菜集』における「春」の意識, 1977年5月, 文芸研究 第85号
- 短編「並木」-「青春」の行方-, 1978年11月, 『島崎藤村-課題と展望』
- 藤村の短編「女」の作中人物について, 1980年2月, 解釈 第26巻第2号第299集
- 藤村の「うすごほり」「うたゝね」(詩群総題)の意味, 1980年9月, 島崎藤村研究 第6号
- 『新生』論-「岸本」の「フランス」-, 1981年3月, 信州大学人文学部「ヨーロッパ精神史における愛の諸相」
- 「春」に見る愛の行方, 1982年8月, 島崎藤村研究 第9・10号
- 北村透谷の「情熱」について, 1984年2月, 信州大学教養部紀要 第18号
- 『新生』論-その「構想」の特色について-, 1984年12月, 島崎藤村研究 第12号
- 島崎藤村とフランス自然主義, 1986年4月, 解釈 第32巻第4号第373集
- 藤村の「草枕」とミルトンの『失樂園』-藤村の「ヒューマニズム」への一視点-, 1987年2月, 信州大学教養部紀要 第21号
- 『新生』論-発端としての藤村の思念について-, 1988年2月, 信州大学教養部紀要 第22号

- 20 藤村と東京－作品に見る藤村と東京－, 1992年9月, 島崎藤村研究 第20号
- 21 『若菜集』の成立, 1994年1月, 『日本文芸の潮流』
- 22 『破戒』の読みについて－「丑松」の「告白」－, 1994年3月, 信州大学教養部紀要 第28号
- 23 藤村と上田敏, 1999年10月, 『論集 島崎藤村』
- 24 『新生』とその周辺, 2004年3月, 信州大学人文学部人文科学論集 第38号
- 25 島崎藤村－松尾芭蕉の文学とその足跡を追って－, 2010年3月, 信州大学全学教育機構 人文・社会科学分野 G.E. プロジェクト報告書
- 26 島崎藤村－松尾芭蕉の文学とその足跡を追って(続)－, 2011年3月, 信州大学全学教育機構 人文・社会科学分野 G.E. プロジェクト報告書

③ その他

- 1 島崎藤村の文学と女性たち, 1987年11月, 上條宏之・西村真一・仁科惇編『信州の近代化と女性』
- 2 信州と近代文学－軽井沢と木曾路－, 1995年10月, 信州大学「信州の歴史と文化」編集委員会編『信州の歴史と文化－山と平と文学と－』
- 3 三好行雄・竹盛天雄・吉田熙生・浅井清編集『日本現代文学大辞典』, 1994年6月, 分担執筆, 作品編5項目, 人名事項編4項目

④ 学会活動

- 昭和47年4月 日本文芸研究会会員（現在に至る）
 昭和50年4月 日本近代文学会会員（現在に至る）
 昭和50年4月 島崎藤村学会会員（現在に至る）
 平成22年9月 島崎藤村学会全国大会大会委員長

⑤ 学会発表

- 1 『若菜集』における「春」の意識, 1975年10月, 日本近代文学会秋季大会
- 2 『破戒』論－「丑松」の「告白」－, 1988年9月, 日本近代文学会9月例会
- 3 藤村と東京－作品に見る藤村と東京－, 1990年9月, 島崎藤村学会全国大会シンポジウム
- 4 『新生』論－「岸本」と「節子」－, 2004年9月, 島崎藤村学会全国大会シンポジウム

⑥ 学内業績

- 平成21年4月1日 信州大学附属図書館松本合同図書館副館長に兼務（全学教育機構担当）
 平成22年4月1日 信州大学附属図書館松本合同図書館副館長に兼務を解除（全学教育機構担当）